

就 職

◎企業数

東京都	鹿児島県
423,595 社	45,827 社

※総務省・経済産業省「令和3年経済センサス」2021年6月時点

◎初任給（千円）

東京都	鹿児島県
高卒 187.2 千円	高卒 183.7 千円
大卒 244.5 千円	大卒 235.6 千円

※令和5年度賃金構造基本統計調査

◎通勤時間

東京都	鹿児島県
約 92 分	約 60 分

※令和3年社会生活基本調査結果

◎平日における平均帰宅時間

東京都	鹿児島県
19時15分	17時56分

※令和3年社会生活基本調査結果

MEMO :

東京の企業数は鹿児島の約9.2倍！東京では自分の興味のある企業を見つけやすく、鹿児島では企業数が少ないため、業種によっては就職活動は苦勞するかもしれません。初任給は高卒では大きな差はありませんが、大卒では約1万円高くなっています。通勤時間は鹿児島が約32分短く、また、移動手段は鹿児島は多くが自家用車、東京は電車（しかも満員）であると考え、時間以上に大変でしょう。平均帰宅時間は鹿児島の方が1時間19分早く、プライベートの時間を多く持てそうです。

家 計

◎家賃

東京都	鹿児島県
88,266 円	40,570 円

※令和5年住宅・土地統計調査

◎1か月の実収入（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）	鹿児島市
734,830 円	512,390 円

※総務省統計局家計調査年報 2023年

◎1か月の実支出（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）	鹿児島市
515,336 円	375,649 円

※総務省統計局家計調査年報 2023年

MEMO :

家賃は東京の方が約2.2倍高いようです。家賃のような固定費が高いほど生活が苦しくなるため、部屋選びは慎重にする必要があります。

2人以上の勤労世帯の1か月の実収入と実支出を比べてみると、東京は収入も多いですが、支出も多くなっています。仕事とプライベートのバランスを考えてみるのも大切です。

東京と鹿児島県の生活を「見える化」

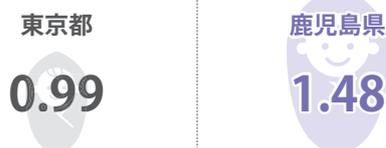
結婚・出産・子育て

◎未婚率



※国立社会保障・人口問題研究所／人口統計資料集（2023 改訂版）

◎合計特殊出生率



※令和 5 年人口動態調査

◎出産費用（正常分娩の場合の平均）



※令和 4 年度厚生労働省保険局

◎1 か月間の教育費（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2023 年

MEMO：

未婚率は男女とも東京の方が高く、合計特殊出生率は東京が 0.99 人、鹿児島が 1.48 人となっています。

出産費用を見てみると、東京は鹿児島に比べ、約 1.5 倍高く、2 人以上の勤労世帯の 1 か月間の教育費にいたっては約 3.6 倍となっています。

子育てや教育にかかる費用の負担や親族によるサポート等を考えると、鹿児島は東京と比べて、結婚・出産・子育てがしやすい環境と言えます。

生活

◎病院数（人口 10 万人当たり）



※令和 4 年医療施設調査

◎治安（人口千人当たり）



※令和 5 年犯罪統計より算出

◎自家用乗用車の保有台数（1 世帯当たり）



※一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ 令和 6 年 3 月時点

MEMO：

病院数は人口 10 万人当たり、東京の 4.5 施設に対し、鹿児島は 14.7 施設と全国でも多い病院数です。また、治安は人口千人当たりの刑法犯認知件数、窃盗犯認知件数ともに東京が全国の上位である一方、鹿児島は全国でも下位であり、安心して暮らせる環境であることがわかります。

自家用乗用車の保有台数を 1 世帯当たりで比べると、東京が 0.410 台、鹿児島は 1.182 台となっており、鹿児島で暮らすには各家庭に 1 台は車が必要となるようです。